

# 竹馬会情報紙

ホームページアドレス  
<http://chikubakai.com>

# はずみ CHIKUBAKAI



竹馬会キャラクター  
なべムシ君

最後は“涙雨”で幕



25年の歴史に幕

## 第25回泥田バレーボール大会 ～FINAL～

平成元年、全国で初めて竹馬会が開催した「泥田バレーボール大会」も今年で25年の歴史に幕を閉じました。

竹馬会の皆さんはもとより、これまで参加していただいたチームの皆さん、会場となる田んぼを貸していただいた農家の皆さん、活動にご理解をいただいた佐知地区の皆さん、会場設営・大会運営にご協力いただいた市内の企業の皆さん、毎年大きく取り上げていただいた報道各社の皆さん等々、多くの方々のご支援、ご協力により25年間も続けることが出来ました。ただただ「感謝」あるのみです。

最後の大会は、前日から降り続く「涙雨」の大会となりましたが、90チームの参加うち、前日までに棄権の申し出のあった2チーム以外は雨で棄権することもなく、過去最多の88チームが参加して行われました。

午後1時05分からは、NHK大分放送局がラジオ第1で決勝トーナメントの様相を2時間25分に亘って実況生中継をするという最高の形で最後を迎えることが出来ました。解説を2008年の北京オリンピック日本代表のエース山本隆弘さんが務め、NHKの高山大吾アナウンサーの実況放送にも熱が入り、プロスポーツの実況中継のような迫力でした。山本さんも「出場する準備をして来ればよかった」と本気で言うほど、泥田バレーのレベルの高さと面白さを認めていました。



白熱したゲームが続き、NHKの実況放送にも熱が入りました。地元「傾奇者」が初優勝！



会場を訪れた人は25年間の新聞記事に懐かしく見入っていました



雨の中の開会式で最後の大会がスタートしました



吉岐、呉、埼玉などから仲間が駆け付け、テレビ取材もあり盛り上がった前夜祭



最後は佐賀会長と事務局相良も胴上げの後、泥田ハドボン！



「25年間ありがとうございました」の横断幕が寂しくもあり、大会に花も添えました



最後の大会の参加賞はコシヒカリ5kgの「官兵衛米」



20年前の全国放送されたビデオを懐かしく観ました

# 竹馬会情報紙

ホームページアドレス  
<http://chikubakai.com>

# はずみ

## CHIKUBAKAI



竹馬会キャラクター  
なべムシ君

## 第25回泥田バレーボール大会 新聞各社の報道



### 泥んこ最後のレシーブ

全国の「どろんこバレー」の草分けとされる大分県中津市の泥田バレーボール大会の最終日が2日、市内の田んぼで開催された。参加した88チームの選手は、そ



泥んこバレー 最後まで熱く 大分・中津 泥んこバレーの歴史は、昭和30年代から続く。昭和30年代は、大分県中津市に「泥んこバレー」の歴史は、昭和30年代から続く。昭和30年代は、大分県中津市に「泥んこバレー」の歴史は、昭和30年代から続く。



6月3日(月)朝日新聞も社会面掲載 (九州山口エリア)

6月3日(月)西日本新聞は1面に掲載 (九州エリア)

6月3日(月)大分合同新聞朝刊は1面に写真と記事は社会面トップ



6月3日(月)読売新聞(大分版)



6月3日(月) 毎日新聞(大分版)



6月5日(水)大分合同新聞はさらに写真で特集

## 杵岐の島 第1回泥んこバレー

5月19日(日)、長崎県杵岐市で行われた「杵岐の島」第1回泥んこバレー大会が、14日、竹馬会から訪ねる者が6名が出場しました。



杵岐の大会も朝から雨の中、選手は震えながらの試合となりました。竹馬会のヤングチームはベスト4の成績でした。

OBS『旬感! 3ch』 楽しい番組でした!!



杵岐の交流会



交流会では、「サザエ」「ウニ」などたくさんの海の幸をいただきました。



6月8日(土)大分合同新聞夕刊は1面の半分に写真を掲載。なんと泥田バレーの下の記事は、オバマ大統領と習近平国家主席の「米中首脳会談」

この他、前記事で読売、西日本は九州全域に、毎日、大分合同は大分版で「25年の歴史に幕」の記事を掲載しました。